

スプーン曲げ

愛甲次郎

八十年代も末の頃なりけむ。國廣大使に誘はれ二子玉川の鈴木秀天師の氣功道場に赴けり。余既に澁谷の西野皓三の道場にて氣功はかなりの域に達したれば、他道場を覗き見んとの輕き心地にて大使の案内に従ひぬ。鈴木道場はダンス教室も開かるる手頃の廣さのホールにして、西野道場の荒々しさは見られず。道場の雰圍氣は穩やかなるのみならず或種の氣品も備へたり。余常日頃健康法の爲妻を氣功に誘はむと思ひたれど、西野道場の荒々しさに能く耐へざらむと敢へて勸むることはせざりき。されば鈴木道場を見るに及び迷ふことなく妻に勸むることせり。道場にて今は亡き岡崎大使指導員として大なる存在なりき。余も經驗を買はれて指導員の座に就く。かくして極自然の成り行きとして、余西野より鈴木に移籍す。

鈴木道場屢々合宿旅行を催す。余も數回これに参加せり。合宿にては普段教室にては實習せられざる技も披露せらる。その中の一つにスプーン曲げあり。テレビにてユーリゲラーのスプーン曲げの實演を見たることはあれど、かかる不思議を目の當りにするとは夢思はざりき。かねて用意の數多のスプーンを各自一本づつ手に取り、直ちに實習に入る。左手に持ちたるスプーンの柄の背を右の人差し指を以て念じつつ擦り、頃合いを見計ひて兩手を以て曲ぐればスプーンはいとも容易く屈するなり。余も人に交じりて試み成功せり。眞真に信じ難きことなり。最初は柄を擦りつつ「曲がれ、曲がれ」と心の内に念じたれど、やがてスプーンを持つ手より氣を入れるればそれにて足るを知るに至る。スプーンをぐるぐる巻きに爲す者も現はる。

合宿とは別の機會なれど、余スプーンを手を持つこともせず、目の前に置き、之を凝視して曲がれよと命じたる後、手に取りて何事もなく屈するを得たり。

テレビのスプーン曲げの實演においては、演者スプーンを手を持ちて其の儘スプーン自づと曲り始め、果ては切れて落つることあり。かかる藝は余輩の能く成し得ざる所、スプーン曲げにも芸の上下あるを知りぬ。

余豫^かて思ふに世に超自然と看做さるる現象、科學の冷徹なる眼を以てこれを觀察せば數多の新しき知見を得べし。スプーン曲げもその一つなり。國立金屬材料研究所電子顯微鏡を以て折れたるスプーンの斷面を仔細に觀察すべきなり。ノーベル賞クラスの發見に至ることなきにしも非ず。

(平成二十九年二月二十六日受附)